

## 関西学院初等部 1年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇1年音楽科の目標

- ・楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心を持ち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- ・歌唱では自分の歌声に注意を向け、丁寧に歌うこと、みんなの声に合わせて歌うことを意識できるようにする。
- ・宗教音楽に親しむことができるようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇1年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	<p>○歌でなかよしになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うたでさんぼ・ぞうさんのさんぼ</li> <li>・てとてであいさつ</li> <li>・(共通教材)ひらいたひらいた</li> </ul> <p>○拍を感じ取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名まえあそび・さんぼ</li> <li>・(共通教材)かたつむり</li> </ul> <p>○拍ののってリズムを打とう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんぼん</li> <li>・げんこつ山のたぬきさん</li> <li>・しろくまのジェンカ</li> <li>・(共通教材)うみ</li> </ul> <p>○鍵盤ハーモニカを吹こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりさんのおうち</li> <li>・まねっこ遊び・ドレミでのぼろう</li> </ul> <p>○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イースターの讃美歌</li> <li>・花の日の讃美歌</li> <li>・ペンテコステの讃美歌</li> </ul>	<p>○友達といっしょに歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心を育てます。</p> <p>○音楽を聴いたり身体表現をしたりしながら、拍の流れを感じ取ります。</p> <p>○拍の流れを感じ取りながら、歌ったり身体表現をしたりします。</p> <p>○リズムの違いに気付いたり、拍の流れののって簡単なリズムを演奏したりします。</p> <p>○鍵盤ハーモニカに親しみながら、基本的な奏法を身につけます。</p> <p>○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。</p> <p>○感謝する気持ちを持って讃美歌を歌います。</p> <p>○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の仕組み</li> <li>・拍の流れ</li> <li>・リズム</li> <li>・フレーズ</li> <li>・音色</li> <li>・旋律</li> </ul>
二 学 期	<p>○いろいろな音に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンコペーテッドクロック</li> <li>・楽器遊び</li> </ul> <p>○みんなで歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭練習</li> </ul> <p>○ようすを思い浮かべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おどるこねこ</li> <li>・はるなつあきふゆ</li> </ul> <p>○収穫感謝の讃美歌をうたおう</p> <p>○クリスマスの音楽を楽しもう</p>	<p>○いろいろな音に対する興味・関心を育てます。</p> <p>○いろいろな楽器の音の鳴らし方工夫しながら、様子に合う音を探して演奏します。</p> <p>○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。</p> <p>○楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりします。</p> <p>○歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫します。</p> <p>○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。</p> <p>○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。</p> <p>○クリスマス音楽の鑑賞をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色</li> <li>・強弱</li> <li>・旋律</li> <li>・音楽の仕組み</li> <li>・速度</li> </ul>

三 学 期	○音の高さに気をつけて歌おう ・どれみあそび ○たがいの音をきこう ・あいあい ・やまびごっこ ・とんくるりんぱんくるりん ・こいぬのマーチ ○おんがくをたのしもう ・そろそろはるですよ ・くまばちはとぶ ○レントの讚美歌に親しもう	○音の高さに気をつけながら、階名で模唱や暗唱をして相対的な音程感を養います。 ○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちに合わせて演奏します。 ○歌声や楽器の音が重なり合う響きを感じながら、拍の流れにのって楽しく演奏します。 ○今までに学習してきたことを生かして、音楽を楽しみながら歌ったり聴いたりします。 ○イエスキリストの受難を知り、祈りの気持ちをもって讚美歌を歌います。	・旋律 ・拍の流れ ・フレーズ ・強弱 ・音楽の仕組み
-------------	--	--	---

### ◇指導の工夫

#### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・のびやかな、無理のない発声を導くため、体をほぐす運動等を取り入れ、頭声的発声や腹式呼吸が意識できるようにします。
- ・互いに信頼しあい、声を響かせあえる仲間作りができるように、グループに分かれて学習する時間をつくり、一人一人役割を担うようにします。

#### <音楽の楽しさを体感させる工夫>

- ・演奏する楽しさを体感させるため、楽曲に応じてさまざまな楽器に触れる機会を多くします。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

#### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して、讚美歌の歌詞の内容が理解できるようにし、心を込めて讚美歌を歌うことができるようにします。

### ◇評価観点

- ・楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を身につけ、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気づき、味わって聴いているか。

### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽1』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社

### ◇保護者のみなさまへ

- ・関西学院初等部の音楽では、特に合唱・歌唱に重点を置いて授業をします。歌うことが楽しくなるように、ご家庭でもお子様の歌声に耳を傾け、時には一緒に歌ったり、リズムをとったりしてあげてください。
- ・讚美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れます。讚美歌から自然にキリスト教の精神が伝わってきます。ぜひご家庭でもお子様と一緒に讚美歌を歌ってみてください。
- ・積極的に授業参加ができるように楽譜や楽器の用意など、持ち物の点検をお願いします。

## 関西学院初等部 2年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇2年音楽科の目標

- ・楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心を持ち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- ・歌唱では自分の歌声に注意を向け、丁寧に歌うこと、みんなの声に合わせて歌うことを意識できるようにする。
- ・宗教音楽に親しむことができるようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇2年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	<p>○歌でともだちのわをひろげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ</li> <li>・ずいずいずっころばし</li> <li>・ロンドン橋 ・小犬のビンゴ</li> <li>・(共通教材)はるがきた</li> </ul> <p>○拍のまとまりを感じ取ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たぬきのたいこ・橋のうえで</li> <li>・メヌエット</li> </ul> <p>○音の高さに気をつけて歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレミの歌</li> <li>・かっこう ・かえるのがっしょう</li> <li>・ドレミであそぼう</li> </ul> <p>○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イースターの讃美歌</li> <li>・花の日の讃美歌</li> <li>・ペンテコステの讃美歌</li> </ul>	<p>○友達といっしょに歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽に対する興味・関心を育てます。</p> <p>○音楽を通して、諸外国の文化に触れるようにします。</p> <p>○身体表現をしながら歌ったり聴いたりして、拍のまとまりや拍子の違いを感じ取ります。</p> <p>○音の高さに気をつけながら、階名で模唱や暗唱をして相対的な音程感を養うようにします。</p> <p>○声の出し方や発音に気をつけながら歌ったり、階名暗唱をもとに、きれいな音で楽器を演奏したりします。</p> <p>○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。</p> <p>○感謝する気持ちを持って讃美歌を歌います。</p> <p>○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム</li> <li>・音色</li> <li>・拍の流れ</li> <li>・旋律</li> <li>・フレーズ</li> </ul>
二 学 期	<p>○はくにとってリズムをうとう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この空とぼう</li> <li>・いるかはざんぶらこ</li> <li>・山のポルカ</li> <li>・リズムあそび</li> </ul> <p>○みんなで歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭練習</li> </ul> <p>○いろいろな音にしたしもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森のカーニバル ・音さがし</li> <li>・かぼちゃ</li> <li>・(共通教材)虫のこえ</li> </ul> <p>○ようすを思い浮かべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形の夢とめざめ</li> <li>・海とおひさま ・小ぎつね</li> <li>・(共通教材)夕やけこやけ</li> </ul> <p>○収穫感謝の讃美歌をうたおう</p>	<p>○リズム譜に親しみ、拍子を感じ取りながら、簡単なリズムを演奏します。</p> <p>○リズム伴奏にのって、歌ったり楽器を演奏したりします。</p> <p>○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。</p> <p>○いろいろな音や音色の違いを感じ取ったり、好きな音を探したりして、音に対する興味・関心を育てます。</p> <p>○音色の違いを生かしながら音の重ね方を工夫して、拍の流れにのって演奏します。</p> <p>○楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりします。</p> <p>○歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫します。</p> <p>○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム</li> <li>・拍の流れ</li> <li>・フレーズ</li> <li>・音色</li> <li>・強弱</li> <li>・旋律</li> <li>・速度</li> <li>・音楽の仕組み</li> </ul>

	○クリスマスの音楽を楽しもう	○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。 ○クリスマス音楽の鑑賞をします。	
三 学 期	○たがいの音をきこう ・どこかで ・ぷっかりくじら ・こぐまの二月  ○音楽を楽しもう ・えがおできょうも ・うたえバンバン ・トルコ行進曲  ○レントの讃美歌に親しもう	○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏します。 ○歌声や楽器の音が重なり合う響きを感じながら、拍の流れにのって楽しく演奏します。 ○今までに学習してきたことを生かして、音楽を楽しみながら歌ったり聴いたりします。  ○イエスキリストの受難を知り、祈りの気持ちをもって讃美歌を歌います。	・拍の流れ ・フレーズ ・強弱

### ◇指導の工夫

#### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・のびやかな・無理のない発声を導くため、体をほぐす運動等を取り入れ、頭声的発声や腹式呼吸が意識できるようにします。
- ・互いに信頼しあい、声を響かせあえる仲間作りができるように、グループに分かれて学習する時間をつくり、一人一人役割を担うようにします。

#### <音楽の楽しさを体感させる工夫>

- ・演奏する楽しさを体感させるため、楽曲に応じてさまざまな楽器に触れる機会を多くします。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

#### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して、讃美歌の歌詞の内容が理解できるようにし、心を込めて讃美歌を歌うことができるようにします。

### ◇評価観点

- ・楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を身につけ、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気づき、味わって聴いているか。

### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽2』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社

### ◇保護者のみなさまへ

- ・関西学院初等部の音楽は、特に合唱・歌唱に重点を置いた授業をします。歌うということは、自己表現の第一歩と考えています。歌うことによって、一人ひとり感情表現ができるように育てていきたいと思っております。歌うことが楽しくなるように、ご家庭でも一緒に歌ったり、時にはお子様の歌声を聴いてあげたりしてください。
- ・讃美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れます。讃美歌から自然にキリスト教の精神が伝わってきます。ぜひご家庭でもお子様と一緒に歌ったり、歌詞を読んだりして讃美歌に親しんでください。
- ・積極的に授業参加ができるように楽譜や楽器の用意など、忘れものの無いようにお声掛けをお願いします。

## 関西学院初等部 3年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇3年音楽科の目標

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- ・歌唱では呼吸・発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない声で歌うことができるようにする。
- ・数多くの讃美歌にふれるようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇3年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽譜を読もう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレミで歌おう</li> <li>・海風をきいて</li> <li>・(共通教材)春の小川</li> </ul> </li> <li>○リコーダーをふこう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小鳥のために</li> <li>・練習1～3</li> <li>・夕やけこやけ ・小さな花</li> </ul> </li> <li>○拍のながれにのろう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・とどけようこのゆめを</li> <li>・新しい世界</li> <li>・(共通教材)茶つみ</li> </ul> </li> <li>○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・イースターの讃美歌</li> <li>・花の日の讃美歌</li> <li>・ペンテコステの讃美歌</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハ長調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら階名で視唱したり視奏したりして、読譜に慣れます。</li> <li>○リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な奏法を身につけたりします。</li> <li>○拍の流れにのって、拍子を感じ取りながら表現したり聴いたりします。</li> <li>○拍子にのって、きれいな音でリコーダーを演奏することができるようにします。</li> <li>○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。</li> <li>○感謝する気持ちを持って讃美歌を歌います。</li> <li>○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・リズム</li> <li>・強弱</li> <li>・音階</li> <li>・音色</li> <li>・拍の流れ</li> <li>・フレーズ</li> </ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな音色をかんじとろう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランペットふきの休日</li> <li>・おかしのすきなまほう使い</li> </ul> </li> <li>○みんなで歌おう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭練習</li> </ul> </li> <li>○せんりつのとくちょうをかんじとろう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・メヌエット ・山のポルカ</li> <li>・一人の手</li> <li>・ゆかいな木琴</li> <li>・(共通教材)うさぎ ふじ山</li> </ul> </li> <li>○収穫感謝の讃美歌をうたおう</li> <li>○クリスマスの音楽を楽しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりします。</li> <li>○音の特徴や音色の違いを生かして、音色や音量のバランスに気をつけながら、イメージに合う音を表現します。</li> <li>○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。</li> <li>○旋律の特徴を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりします。</li> <li>○旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫しながら演奏します。</li> <li>○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。</li> <li>○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。</li> <li>○クリスマス音楽の鑑賞をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色</li> <li>・強弱</li> <li>・旋律</li> <li>・フレーズ</li> <li>・音楽の仕組み</li> </ul>

<p>三 学 期</p>	<p>○音の重なりをかんじとろう ・歌おう声高く ・かね ・あの雲のように ・パフ</p> <p>○日本の音楽に親しもう ・祇園囃子 ・神田囃子</p> <p>○音楽を楽しもう ・きょうりゅうとチャチャチャ ・小犬のワルツ</p> <p>○レントの讃美歌に親しもう</p>	<p>○旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。</p> <p>○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏します。</p> <p>○日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や郷土の伝統音楽に親しみます。</p> <p>○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する楽しさや聴く喜びを味わいます。</p> <p>○イエスキリストの受難を知り、祈りの気持ちをもって讃美歌を歌います。</p>	<p>・音の重なり ・旋律 ・強弱 ・音色 ・リズム ・速度 ・音楽の仕組み</p>
----------------------	--	---	--

## ◇指導の工夫

### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・響きのある声でハーモニーを奏でることができるように、声帯に無理のかからない発声方法を指導します。
- ・歌詞の内容にふさわしい曲想表現への意識を高める為、言葉の発音に十分気をつけるようにします。
- ・互いに信頼しあって合唱を作り上げることができるように、パート練習では、それぞれが責任を持って役割を分担するように指導します。

### <音楽の美しさを感じさせる工夫>

- ・楽器の持つ固有の音色やその響きの美しさに興味を持つことができるように、いろいろな楽器の組み合わせを考えさせながら合奏や小アンサンブルを行います。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して、讃美歌の歌詞の理解を深め、心を込めて讃美歌を歌うことができるようにします。

## ◇評価観点

- ・進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いているか。

## ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽3』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社
- ・『たのしいリコーダー ピポピポ』トヤマ出版

## ◇保護者のみなさまへ

- ・関西学院初等部の音楽は、特に合唱・歌唱に重点を置いて授業をします。今まで以上に呼吸や発音の仕方に気を付け、自然で無理のない声で歌い、自分の表現したいことが明確に伝えることができるように指導していきます。
- ・讃美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れます。讃美歌から自然にキリスト教の精神が伝わってきます。讃美歌によって力づけられたり、慰められたりすることもあります。讃美歌が心の中に響きわたってほしいと願っています。ぜひご家庭でも讃美歌をお子様と一緒に歌ったり、歌詞を読んだりして親しんでください。

## 関西学院初等部 4年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇4年音楽科の目標

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- ・歌唱では呼吸・発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない声で歌うことができるようにする。
- ・数多くの讃美歌にふれるようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇4年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	○楽譜を読もう ・あわてんぼうの歌 ・歌のにじ ・(共通教材)さくらさくら ○リコーダーをふこう ・雨の公園 ・子もり歌 ○拍のながれにのろう ・風のメロディー ・朝の気分 ・友達シンドバッド ・(共通教材)とんび ○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう ・イースターの讃美歌 ・花の日の讃美歌 ・ペンテコステの讃美歌	○ハ長調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら階名で視唱したり視奏したりして、読譜に慣れます。 ○リコーダーのサミングを覚えて、きれいな音で演奏します。 ○拍の流れにのって、拍子を感じ取りながら表現したり聴いたりします。 ○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。 ○感謝する気持ちを持って讃美歌を歌います。 ○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。	・旋律 ・強弱 ・音の重なり ・音色 ・リズム ・音階 ・調 ・拍の流れ ・フレーズ
二 学 期	○いろいろな音色を感じ取ろう ・バディネリ ・クラリネットポルカ ・音のカーニバル ・(共通教材)もみじ ○みんなで歌おう ・文化祭練習 ○せんりつのとくちょうを感じ取ろう ・つるぎのまい ・白鳥 ・陽気な船長 ・オーラリー ・ゆかいに歩けば ・冬の歌 ○収穫感謝の讃美歌をうたおう ○クリスマスの音楽を楽しもう	○いろいろな音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりします。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、音色や音量のバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏します。 ○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。 ○旋律や曲の特徴を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりします。 ○旋律や曲の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫しながら演奏します。 ○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。 ○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。 ○クリスマス音楽の鑑賞をします。	・音色 ・強弱 ・旋律 ・リズム ・速度 ・音楽の仕組み

<p>三 学 期</p>	<p>○音の重なりを感じ取ろう ・パレードホッホー ・茶色の小びん</p> <p>○日本の音楽に親しもう ・ソーラン節 ・南部牛追い歌 ・こきりこ</p> <p>○音楽を楽しもう ・山のまおうの宮殿にて ・ドレミの歌</p> <p>○レントの讃美歌に親しもう</p>	<p>○旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。</p> <p>○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏します。</p> <p>○日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、郷土の伝統音楽に親しみます。</p> <p>○日本の旋律の特徴を感じ取りながら、聴いたり表現したりします。</p> <p>○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する楽しさや聴く喜びを味わいます。</p> <p>○イエスキリストの受難を知り、祈りの気持ちをもって讃美歌を歌います。</p>	<p>・音の重なり ・旋律 ・強弱 ・リズム ・拍の流れ ・音楽の仕組み</p>
----------------------	---	--	--

## ◇指導の工夫

### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・響きのある声でハーモニーを奏でることができるように、声帯に無理のかからない発声方法を指導します。
- ・歌詞の内容にふさわしい曲想表現への意識を高める為、言葉の発音に十分気をつけるようにします
- ・互いに信頼しあって合唱を作り上げることができるように、パート練習では、それぞれが責任を持って役割を分担するように指導します。

### <音楽の美しさを感じさせる工夫>

- ・楽器の持つ固有の音色やその響きの美しさに興味を持つことができるように、基礎的な演奏技術を身に付け、いろいろな楽器の組み合わせを考えさせながら合奏や小アンサンブルを行います。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して、讃美歌の歌詞の理解を深め、心を込めて讃美歌を歌うことができるようにします。

## ◇評価観点

- ・すすんで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いているか。

## ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽4』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社
- ・『たのしいリコーダー ピポピポ』トヤマ出版

## ◇保護者のみなさまへ

- ・関西学院初等部の音楽は、特に合唱・歌唱に重点を置いて授業をします。今まで以上に呼吸や発音の仕方に気を付け、自然で無理のない声で歌い、自分の表現したいことが明確に伝えることができるように指導していきます。
- ・讃美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れます。讃美歌から自然にキリスト教の精神が伝わってきます。讃美歌によって力づけられたり、慰められたりすることもあります。讃美歌が心の中に響きわたってほしいと願っています。ぜひご家庭でも讃美歌をお子様と一緒に歌ったり、歌詞を読んだりして親しんでください。



## 関西学院初等部 5年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇5年音楽科の目標

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- ・歌唱では呼吸や発音を工夫して、豊かな響きのある声で歌うことができるようにする。
- ・讃美歌の内容を理解し、詩を味わって歌うようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇5年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	<p>○楽譜を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤いやねの家</li> <li>・一輪の赤い花</li> <li>・(共通教材)こいのぼり</li> </ul> <p>○いろいろなひびきを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもあの海は</li> <li>・リボンの踊り(ラ バンバ)</li> <li>・双頭のわしの旗の下に</li> </ul> <p>○和音の美しさを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かにねむれ</li> <li>・それは地球</li> </ul> <p>○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イースターの讃美歌</li> <li>・花の日の讃美歌</li> <li>・ペンテコステの讃美歌</li> </ul>	<p>○ハ長調やイ短調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら視唱・視奏したり、拍の流れによって曲想を感じ取りながら演奏したりします。</p> <p>○歌声や楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。</p> <p>○音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏します。</p> <p>○和音の響きの変化を感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。</p> <p>○和音の響きの美しさを感じ取って、互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、全体の響きのバランスに気をつけて演奏します。</p> <p>○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。</p> <p>○感謝する気持ちを持って讃美歌を歌います。</p> <p>○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・リズム</li> <li>・強弱</li> <li>・フレーズ</li> <li>・音階</li> <li>・調</li> <li>・音の重なり</li> <li>・音色</li> <li>・和声の響き</li> <li>・音楽の仕組み</li> </ul>
二 学 期	<p>○曲想を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれかが口笛ふいた</li> <li>・ハンガリー舞曲第5番</li> <li>・リズムアンサンブル</li> <li>・キリマンジャロ</li> </ul> <p>○みんなで歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭練習</li> <li>・(共通教材)冬げしき</li> </ul> <p>○収穫感謝の讃美歌をうたおう</p> <p>○クリスマスの音楽を楽しもう</p>	<p>○曲想やその変化を感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。</p> <p>○旋律の特徴を感じ取って、曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら演奏します。</p> <p>○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。</p> <p>○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。</p> <p>○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。</p> <p>○クリスマス音楽の鑑賞をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・リズム</li> <li>・強弱</li> <li>・速度</li> <li>・音楽の仕組み</li> </ul>

三 学 期	<p>○詩と音楽を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ちぼうけ</li> </ul> <p>○日本と世界の音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の海</li> <li>・世界の国々の音楽 アリラン まつり花</li> <li>・(共通教材)子もり歌</li> </ul> <p>○音楽の楽しさを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失われた歌</li> <li>・威風堂々第一番</li> </ul> <p>○レントの讃美歌に親しもう</p>	<p>○詩と音楽が一体となって生み出される日本の歌曲の美しさを味わいます。</p> <p>○日本や世界の国々の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、日本や諸外国の音楽に親しみます。</p> <p>○日本や世界の国々の音楽のよさや楽器の響きの美しさを味わいながら聴いたり、その雰囲気を生かして表現したりします。</p> <p>○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する喜びを味わいながら、心をこめて演奏します。</p> <p>○イエスキリストの受難を知り、祈りの気持ちをもって讃美歌を歌います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・リズム</li> <li>・音色</li> <li>・音楽の仕組み</li> </ul>
-------------	---	--	---

## ◇指導の工夫

### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・豊かな響きのある声でハーモニーを奏でることができるように、心身ともに成長にある児童の声帯に無理のかからない発声方法を指導します。また、子ども一人一人の声の持ち味を生かすため個別の発声指導も行います。
- ・歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい曲想表現への意識をより高めるために、歌詞の理解を深め、言葉の発音に十分気をつけられるように指導します。
- ・互いに信頼し合って合唱を作り上げるために、一人一人が責任を持って役割を分担するように指導します。

### <音楽の美しさを感じさせる工夫>

- ・楽器の持つ固有の音色や音域、音量や速度の変化などに気付き、より美しく創造的に表現できるように、楽器選択の幅を広げ、曲の構成を考えさせながら小アンサンブルや合奏を行います。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して、讃美歌の歌詞の理解をより深め、声高らかに心を込めて讃美歌を歌うことができるようにします。

## ◇評価観点

- ・創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いているか。

## ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽5』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社
- ・ソプラノリコーダー曲集『地球の上で』ヤマハ株式会社

## ◇保護者のみなさまへ

- ・高学年ではより一層合唱に重点を置いた授業をします。5年生では変声期を迎える子どももいます。できるだけ自然で無理のない声で歌うように指導をしていきます。
- ・讃美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れていきます。讃美歌からキリスト教の精神が伝わってきます。讃美歌の言葉や、旋律から心に響くものがきっとあるはずです。ぜひご家庭でもお子様と一緒に讃美歌に親しんでいただきたいと思います。そして、生涯にわたって讃美歌を歌い続けてほしいと願っています。

## 関西学院初等部 6年 音楽科 シラバス〔保護者用〕

### ◇6年音楽科の目標

- ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- ・歌唱では呼吸や発音を工夫して、豊かな響きのある声で歌うことができるようにする。
- ・讃美歌の内容を理解し、詩を味わって歌うようにする。
- ・様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

### ◇6年音楽科の学習計画

	○題材名 ・教材名	目標・主な活動	共通事項
一 学 期	○楽譜を読もう ・明日という大空 ・おぼろ月夜 ・つばさをください ・ふるさと ○和音の美しさを味わおう ・こげよマイケル ・燃え上がれ ・星の世界 ・野ばら ・われは海の子 ○教会暦に合わせた讃美歌を歌おう ・イースターの讃美歌 ・花の日の讃美歌 ・ペンテコステの讃美歌	○ハ長調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら視唱したり、拍の流れにのって曲想を感じ取りながら演奏したりします。 ○和音の響きの変化を感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。 ○和音の響きの美しさを感じ取って、互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、全体の響きのバランスに気をつけて演奏します。 ○イエスキリストが復活された喜びを感じながら讃美歌を歌います。 ○感謝する気持ちを持って讃美歌をいます。 ○天から聖霊が下ってくることをイメージしながら 讃美歌を歌います。	・旋律 ・強弱 ・リズム ・フレーズ ・速度 ・音の重なり ・音色 ・音楽の仕組み ・和音の響き ・音の重なり
二 学 期	○いろいろなひびきを味わおう ・星空はいつも ・ラバースコンチェルト ・歓喜 ○みんなで歌おう ・文化祭練習 ○収穫感謝の讃美歌をうたおう ○詩と音楽を味わおう ・箱根八里 ・花 ○クリスマスの音楽を楽しもう	○歌声や楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏します。 ○歌詞にあった歌い方、イメージを生かした表情豊かな歌い方を工夫します。 ○神様からいただいている自然の恵みを覚え、讃美歌を歌います。 ○詩と音楽が一体となって生み出される日本の歌曲の美しさを味わいます。 ○歌詞や曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら、思いや意図をもって演奏します。 ○クリスマスの喜びを感じ、詞の意味を理解しながら讃美歌を歌います。 ○クリスマス音楽の鑑賞をします。	・旋律 ・音色 ・強弱 ・速度 ・音楽の仕組み
三 学 期	○曲想を味わおう ・広い空の下で ・木星 ・ふるさと	○曲想やその変化を感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりします。 ○旋律の特徴を感じ取って、曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら演奏します。	・旋律 ・リズム ・音色 ・音楽の仕組み

三 学 期	<p>○世界の音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国々の音楽(楽器)</li> <li>アンデスの祭り</li> <li>・リズムアンサンブル</li> </ul> <p>○音楽の楽しさを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メヌエット</li> </ul> <p>○心をこめて歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハレルヤコーラス</li> <li>・卒業の歌</li> </ul>	<p>○世界の国々の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、諸外国の音楽に親しみます。</p> <p>○世界の国々の楽器の響きの美しさや音楽のよさを味わいながら聴いたり、その雰囲気を生かして表現したりします。</p> <p>○今までに学習してきたことを生かして、音楽を表現する喜びを味わいながら、心をこめて演奏します。</p> <p>○小学校生活を振り返り、今まで学習してきたことを生かして、心をこめて歌いあげます。</p>	
-------------	--	--	--

## ◇指導の工夫

### <合唱へ発展させるための工夫>

- ・豊かな響きのある声でハーモニーを奏でることができるように、心身ともに成長の過程にある児童の声帯に無理のかからない発声方法を指導します。また、子どもの中には変声期を迎える場合がありますので、一人一人の声の持ち味を生かすため個別の発声指導も行い、必要に応じて楽曲の編曲を工夫します。
- ・歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい曲想表現への意識をより高めるために、歌詞の理解を深め、言葉の発音に十分気をつけられるように指導します。
- ・互いに信頼し合って合唱を作り上げるために、一人一人が責任を持って役割を分担するように指導します。

### <音楽の美しさを感じさせる工夫>

- ・楽器の持つ固有の音色や音域、音量や速度の変化などに気付き、より美しく創造的に表現できるように、楽器選択の幅を広げ、曲の構成を考えさせながら小アンサンブルや重奏を行います。
- ・音楽を感じる力を育てるために、DVDやCD等も活用して演奏を身近に感じられるようにします。

### <他教科との連携>

- ・聖書科と連携して讃美歌の歌詞の理解をより深め、声高らかに心を込めて讃美歌を歌うことができるようにします。

## ◇評価観点

- ・創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているか。
- ・音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているか。
- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いているか。

## ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『小学生の音楽6』教育芸術社
- ・『こどもさんびか』改訂版 日本キリスト教団出版局
- ・歌集『歌はともだち』教育芸術社
- ・ソプラノリコーダー曲集『地球の上で』ヤマハ株式会社

## ◇保護者のみなさまへ

- ・初等部で継続して取り組んできた合唱の締めくくりとして、3学期には同声3部合唱『ハレルヤコーラス』を歌います。6年生では変声期を迎える児童も増えてきます。豊かな響きを持った歌声へ成長させていくことができるように、発声方法を指導していきます。
- ・讃美歌は毎日の礼拝時だけでなく、音楽の授業に積極的に取り入れていきます。讃美歌からキリスト教の精神が伝わってきます。讃美歌の言葉や、旋律から心に響くものがきっとあるはずです。ぜひご家庭でもお子様と一緒に讃美歌に親しんでいただきたいと思います。そして、生涯にわたって讃美歌を歌い続けてほしいと願っています。